

事業実績報告書

様式 2
(2022年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-29	講座名	「食×国際交流」！世界の料理で環境を学ぼう♪
記載日	#####	団体名・企業名	ノートルモンド名古屋

〈講座全体の概要〉(300字程度)

第3回については、講師の新型コロナウイルス感染のため開催できず中止いたしました。第1回では、愛知県立大学出身で東京で会社員のモンゴル出身の元留学生をお迎えし、防災ママかきつばた代表の高木さんと防災士メンバーから日本の防災について講義し、日本とモンゴルの違いについて考えるオンラインを活用した環境講座を行いました。第2回では、中国出身で名古屋市で会社経営している元留学生の董さんから、中国北部の環境について講義していただき、水餃子などを作り食し環境について学びました。第4回では、中国出身で名古屋大学大学院を卒業後、名古屋市で会社経営している元留学生の楊さんから、中国の衣装と文化と踊りを実際に見て体験しながら2000年前から現在までの環境の変化によるそれらの変化について学びました。



※写真1の説明

9/3 第2回「中国の料理を作ってみよう(1)」の講座風景

※写真2の説明

9/25 第4回「中国の踊りと衣装を知ろう」の講座風景

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

第3回については、講師の新型コロナウイルス感染のため開催できず中止し残念でした。第1回では、愛知県立大学出身で東京で会社員のモンゴル出身の元留学生、防災ママかきつばた代表の高木さんと防災士メンバーからお話し、日本とモンゴルの違いについて考えるオンラインを活用した環境講座を行いました。第2回では、中国北部の環境について講義していただき、水餃子などを作り食し環境について学びました。第4回では、中国の衣装と文化と踊りを実際に見て体験しながら2000年前から現在までの環境の変化によるそれらの変化について学びました。第1回では防災士である出口志穂志穂が参加者から意見を引き出し意見交換しながら考えを深めるワークショップをオンラインで行い、第2回では食空間コーディネーターとして中国の食文化について講義、第4回ではファシリテーター講師として中国の文化について考えを深めるワークショップを行いました。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)

・日本と外国の防災の取り組みや環境の違いがわかった。 ・オンラインのおかげでコロナ禍でも安心して学ぶことができた。 ・中国の衣装を初めて見て、着てみたら時代によって重さや素材が違って、気候の変化を衣装や踊りの変化と共に知ることができた。